

# 「ごみ」について考えよう!

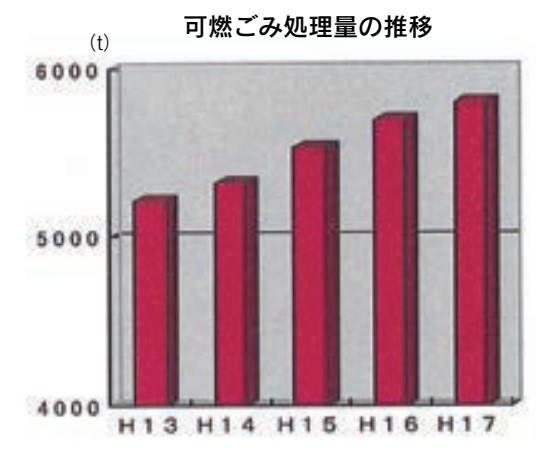


ごみ処理にはたくさんのお金がかかります

平成18年度のごみ処理費用は、可燃ごみや不燃ごみなどを合わせて約1億3,840万円で、町民1人あたりに換算すると約5,536円となります。また、平成17年度のごみ処理量は年間7,118tで、町民1人あたり1日775gのごみを出していることとなります。

ごみが少なくなれば、処理費用を節約でき、浮いた費用を他の事業へ活用できます。

では、ごみを減らすにはどうしたらいいのでしょうか。



## 越前町のごみ処理状況

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
人	口 (人)	25,947	25,746	25,548	25,467	25,177
年間処理量 (トン)	可燃ごみ	5,217	5,320	5,532	5,701	5,809
	不燃ごみ	374	386	387	423	524
	資源ごみ	394	411	451	436	785
	計	5,985	6,117	6,370	6,560	7,118
町民1人あたり <sup>2)</sup> / 日		632	651	684	706	775

## 「3R」で「ごみ」を減らそう

- みなさんは、3Rを知っていますか。
- 減らす (Reduce) リデュース
- 再利用 (Reuse) リユース
- 再資源化 (Recycle) リサイクル

の頭文字をとって「3R」です。ごみを減らすには、日常の中で3Rを実践することが不可欠です。

## リデュース Reduce

余分なものを買ったり、もらったりしていませんか。買い物をするときは、買い物袋を持って行くなどして、レジ袋をもらわないようにしましょう。また、余分な食品を買わないことや詰め替え商品を利用することもごみを減らすポイントです。



## 「ごみ出しのルールとマナー」を守りましょう

時間外にごみを出すと、環境美化が損なわれたり、無分別による排出が多くなるなど、処理施設への負担が大きくなります。ごみを出す際は、必ずルールとマナーを守りましょう。



鯖江クリーンセンターへ搬入された可燃ごみの中に混ざっていた、不燃ごみ



分別が正しくされていないと、回収の時間が遅れたり、回収ができなくなります。

## リサイクル Recycle

分別できるものを可燃ごみに出していませんか。

- 空き缶、空き瓶、ペットボトル、白色トレイは必ず分別しましょう
- 生ごみは堆肥化し、肥料として利用しましょう。
- 新聞、雑誌、ダンボールは集団回収を利用しましょう。
- 再生品を進んで購入、利用しましょう。



## レジ袋の消費量は?

日本でレジ袋がどのくらい使われているか。日本では、年間約30万トンと言われています。枚数で言うと約300億枚、国民1人あたり年間約300枚となり、1週間で5枚ほど使っていることとなります。

## リユース Reuse

ごみとして捨てる前に、ほかに使道はありますか。修理すればまだまだ使えるものもあります。また、リサイクルショップなどを活用するなど、いろいろな使い道を検討しましょう。



## いらぬものと思っても...

ごみとして捨てる予定の家具類・自転車・ベビーベッドなど、周りに使う人がいるかもしれません。一度確認してみませんか。



町では、生ごみ処理器(コンポスト・密閉バケツ)の購入を補助しています。生ごみを減らすことができ、環境にもやさしいので、ご利用ください。

**【対象者】**  
町内に住所を有する個人または団体で、処理容器を購入して、町内に設置し、その用途に従って継続的に使用すること。

**【補助額】**  
購入金額の2分の1  
(100円未満切捨て)

**【補助限度額】**  
コンポスト 6,000円 (1世帯2個まで)  
密閉バケツ 2,000円 (1世帯2個まで)